

事務事業名		水産経営活性化対策事業(漁協)		<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画登載事業	<input checked="" type="checkbox"/>	合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 -- 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	予算科目					
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興			01 06 03 02 05	会計	款	項	目	事業
	基本事業名	03 漁業経営の安定化								
根拠法令										
所属	部課名	農林水産部 水産課								
	係名	振興係	電話	27-3111						
			内線	374						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・水産物の安定生産及び安心・安全な流通体制の整備のため、漁協等が行う施設整備に対する岩手県の補助事業である。その中でも、漁協等の地域営漁計画に位置付けられた、養殖漁場の適切な管理や担い手の確保育成を促し漁場の生産性の回復に資する事業に対しては「地域営漁計画推進特別対策事業」として補助を行なっている。 ・当該補助事業は、事業主体に事業費の5/10(うち県が3/10、地域営漁計画推進特別対策事業は1/3)を補助する。なお、県補助事業として採択されない事業については、市単独事業として2/10を補助する。 ・事務の流れは概ね次のとおりである。 要望調査→実施計画書の提出→補助金内示→補助金申請→補助金交付決定→請求→補助金交付					全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・県単独の補助事業であるが、震災により事業休止中である。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・県の事業が再開されていないため、今年度の事業は休止とする。		名称 単位 ア 補助金交付件数 件 イ ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (直接の対象) 事業主体:水産業協同組合等 (間接の対象) 受益者:事業主体の組合員		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 事業主体数 組合 キ 事業主体の組合員数 人 ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・漁協の共同利用施設を整備することで、経営基盤を強化する。 ・労働環境を改善する。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 整備した施設の数 施設 シ ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) (安心、安全な水産物を安定的、持続的に供給することで)安定して漁業を営む。			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)		千円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	0	0	0	0	0	0
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0
⑤活動指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	組合	4	4	4	4	4	4	
	キ	人	3,004	3,000	2,990	2,980	2,970	2,960	
	ク								
⑦成果指標	サ	施設	0	0	0	0	0	0	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0602	事務事業名	水産経営活性化対策事業(漁協)
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・県が水産施設の整備に対する補助制度を制定したことにあわせ、市もこれに乗せ補助を行うこととした。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・補助率の引き下げ 平成17年度以前 6/10(県:3/10 市:3/10)→平成18年度以降、5/10(県:3/10 市:2/10) ・平成19年度、漁協が策定する地域営漁計画に基づき整備する養殖施設及び養殖共同作業船を補助対象とする「地域営漁計画推進特別対策事業」が創設。補助率は3/6(県:1/3 市:1/6)。 ・東日本大震災により、被災地の多くの水産関連施設が壊滅状態にあるため、現在、当該事業は休止し、国の復旧・復興支援制度を活用し、より補助率の高い復旧・復興事業を実施している状況。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・現在は事業休止中であるが、大震災以前は、事業の継続及び事業採択件数の拡大を要望されていた。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 当該事業を実施することにより、漁業経営の安定化、労働環境の改善、生産物の付加価値の向上の推進が図られる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 県、市が要綱を定め、水産業協同組合などを対象として県内一律で実施されており、公共的な事業と言える。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 県の要綱、要領に基づいて実施しており、対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 現行のままで当市水産業の振興に貢献しており、十分に成果が上がっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 当事業は、県から事業主体へ直接補助する仕組みになっておらず、事業の廃止・休止は考えられない。また、事業主体となる漁協の経営は必ずしも安定したものではなく、市が嵩上げ補助を廃止した場合、漁協等の施設整備が遅れることになり、当市の水産業振興への影響が懸念される。現在、東日本大震災により休止中であるが、復旧・復興事業を活用して施設の整備等を行っている状況。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 当事業は、国が行なう強い水産業づくり交付金事業と類似しているが、補助対象施設及び実施基準等が異なる。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業主体が行う事業費に対する一定割合を補助するものであり、平成18年度から、これまでの市の補助率の3/10を2/10に引き上げており、更なる引き下げは漁協等の施設整備を遅らせ、水産業振興への影響が懸念されることから、現時点において、これ以上の削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 当該事業に要する業務時間は、1事業につき20日間程度であるが、事業要望～補助金交付までの事務手続きに最低限必要な日数であり、これ以上の削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ ・主な事業主体は漁協であるため、市内の全漁協組合員が受益対象になり得る。 ・毎年度、事業の実施要望調査を行っている。 ・事業費の1/2は事業主体(受益者)が負担しており、費用負担は適正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>東日本大震災の影響で、平成23年度は休止、再開時期も未定である。震災により被災した施設、設備等に関しては、国・県の各種復旧支援制度を活用して整備していることから、今後、当分の間は本事業の活用予定はない。</p> <p>本事業が再開された後は、単一年度の要望件数が多い場合、優先順位を付けたり、事業主体に単一年度に事業が集中しないよう計画的に施設整備を進めてもらうなど、調整が必要である。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>当市の基幹産業である水産業の現状を見ると、水産業振興を図る上で当該事業は欠かせないものであることから、計画的に整備ができるよう漁協等と協議をしながら事業を進めていく。</p> <p>東日本大震災の影響で、平成23年度は休止、再開時期も未定である。震災により被災した施設、設備等に関しては、国・県の各種復旧支援制度を活用して整備していることから、今後、当分の間は本事業の活用予定はない。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>毎年度、数年先までの事業要望の取りまとめのうえ、各事業主体との調整が必要。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	水産課	
---------------	-------	-----	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>東日本大震災の影響で、平成23年度は休止、再開時期も未定である。震災により被災した施設、設備等に関しては、国・県の各種復旧支援制度を活用して整備していることから、今後、当分の間は本事業の活用予定はない。</p> <p>事業再開後は、基幹産業である水産業の振興を図る事業であり、漁協等と協議をして計画的に進める必要がある。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>東日本大震災の影響で、平成23年度は休止、再開時期も未定である。震災により被災した施設、設備等に関しては、国・県の各種復旧支援制度を活用して整備していることから、今後、当分の間は本事業の活用予定はない。</p> <p>現在、県事業が休止となっているが、再開された時点で従前どおり継続して事業を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
